

震災から9年、福島県からの避難女性たちの暮らしは…

長期化する原発事故被害 ～女性たちの声に耳を傾ける～

公開セミナーに向けて

清水 奈名子

東京電力福島第一原発事故から9年目となりましたが、福島県外の避難者数は、登録されているだけでも31,000人以上、栃木県内だけでも2,800人近くにのぼります。被災者が直面している被害は、原発事故によって発生した放射能汚染などの直接的な被害ではありません。避難によって生じた家族や共同体の離散、避難先での差別や孤立、経済的な困窮、将来への不安などの二次被害も続いています。さらに、家族や子どもたちの生活や健康に主要な責任を担ってきた女性たちは、原発事故後に多くのストレスと不安を抱えてきました。長期化する原発事故被害の実態について、特に女性たちを対象にした聞き取り調査の結果を参考に考えていきます。

しみずななこ
清水奈名子氏
プロフィール



宇都宮大学大学院国際学部准教授

国際基督教大学大学院行政学研究科、博士後期課程修了(学術博士)。国際連合の安全保障体制について研究すると同時に、東京電力福島第一原発事故後の被害調査を進め、原発避難のタブー化や、被害の不可視化の問題を中心に研究を進めている。国際学部附属多文化公共圏センター福島原発震災に関する研究フォーラムメンバー。

近著「被災者の健康不安と必要な対策」(淡路剛久監修『原発事故被害回復の法と政策』日本評論社、2018年所収)

日時

令和元年10月27日(日)
13:30～16:00 (受付13:00)

会場

とちぎ産業交流センター
TEL:028(670)2610
栃木県宇都宮市ゆいの杜1-5-40

対象

一般・カウンセリング学会会員

定員

120名

参加費

無料

締切

10月17日(木)
*(定員になり次第締め切ります)

申込み方法

FAXまたはメールで
お申込み下さい。

Eメール

co-tochigi@sound.ocn.ne.jp

FAX

028(649)1213

《交通のご案内》



■ JR宇都宮駅東口から約9km(車で約20分)

■ JRバス

- ①芳賀工業団地循環・とちぎ産業創造プラザ前バス停下車 徒歩1分
- ②刈沼バス停下車 徒歩12分

※ 車の場合、主要地方道64号<宇都宮茂木線・通称:柳田街道>の野高谷交差点(清原工業団地北)を北上して約1km

プログラム

13:30～14:20 避難者のお話

半谷八重子氏 (双葉町出身)

大山 香 氏 (栃木避難者母の会代表)

14:20～14:30 休憩

14:30～16:00 講話 清水 奈名子先生

(一社)日本カウンセリング学会栃木県支部会 第11回公開セミナー FAX申込書 028(649)1213

ふりがな

氏 名

電話番号
(自宅・携帯)

住 所

所属に○を付けて下さい。

1. 一般

2. 一般社団法人日本カウンセリング学会栃木県支部会

連絡先 (一社)日本カウンセリング学会栃木県支部会事務局
〒320-0857 宇都宮市鶴田2丁目1-8 ムギショウビル2階
栃木県カウンセリング機構内 TEL: 028(649)1210

主 催 一般社団法人日本カウンセリング学会栃木県支部会

下野新聞・日本学校教育相談学会栃木支部・NPO法人栃木県カウンセリング協会
栃木県公認心理師協会・とちぎボランティアネットワーク・とちぎ暮らし応援会

後 援